



平成21年 9月24日

各 位

アイフル株式会社
 代表取締役社長 福田 吉 孝
 (コード番号 8 5 1 5)
 (上場取引所 東証第1部・大証第1部)
 問い合わせ先 広報部長 小宮 勝之
 TEL 03-4503-6050 (広報部)
 03-4503-6100 (IR室)

業績予想および配当予想の修正のお知らせ

平成21年9月24日開催の取締役会において、平成21年5月12日の決算発表日に公表した業績予想および平成22年3月期配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成22年3月期業績予想の修正

当社グループは、本日公表いたしました「事業再生計画(案)の概要に関するお知らせ」「希望退職者の募集に関するお知らせ」のとおり、今後の事業再生と事業継続に向けて強固な収益体質の確立および財務体質の抜本的な改善を図るため、「産業活力再生特別措置法所定の特定認証紛争解決手続」(以下「事業再生ADR手続」といいます。)による事業再生を目指し、対象債権者である金融機関各位より弁済スケジュールの変更を内容とする金融支援のご協力を賜るとともに、グループ会社本社機能・間接部門の統合、人員削減など抜本的な構造改革を実施し、改正貸金業法の完全施行に備えた組織体制の構築を進めてまいります。

平成22年3月期決算においては、本年8月24日に発表させていただいたとおり、消費者金融子会社4社(株式会社ワイド、トライト株式会社、株式会社ティーシーエム、株式会社パスキー)の譲渡ならびに子会社向け貸付金の譲渡を実施いたしました。事業再生ADR手続における事業再生計画(案)において、利息返還関連の引当金繰り入れや、組織再編等に係る事業構造改革引当金の計上などを実施し、事業再生と事業継続に向けた収益体質の強化を図ることとしており、業績予想を以下のとおり修正させていただきます。

平成22年3月期第2四半期累計期間連結業績予想の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	122,272	6,037	6,026	4,921	20円66銭
今回修正予想(B)	122,000	△272,000	△272,000	△298,000	△1,250円06銭
増減額(B-A)	△272	△278,037	△278,026	△302,921	
増減率(%)	△0.2%	—	—	—	
(ご参考)前年同期実績 (平成21年3月期第2四半期)	165,685	7,962	9,054	7,171	42円94銭

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	226,382	10,633	10,677	8,115	34円07銭
今回修正予想(B)	217,000	△286,000	△285,000	△311,000	△1,305円05銭
増減額(B-A)	△9,382	△296,633	△295,677	△319,115	
増減率(%)	△4.1%	—	—	—	
(ご参考)前年同期実績 (平成21年3月期)	312,241	7,441	8,608	4,247	24円77銭

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想の修正（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	68,657	1,614	4,151	4,445	18円66銭
今回修正予想（B）	69,000	△262,000	△259,000	△286,000	△1,199円27銭
増減額（B－A）	343	△263,614	△263,151	△290,445	
増減率（％）	0.5%	－	－	－	
（ご参考）前年同期実績 （平成21年3月期第2四半期）	94,122	1,579	4,739	7,609	45円56銭

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	125,928	3,015	8,200	8,033	33円72銭
今回修正予想（B）	123,000	△261,000	△256,000	△284,000	△1,192円97銭
増減額（B－A）	△2,928	△264,015	△264,200	△292,033	
増減率（％）	△2.3%	－	－	－	
（ご参考）前年同期実績 （平成21年3月期）	177,216	△2,805	2,807	9,657	56円31銭

2. 業績予想修正の理由

(1) 個別業績予想の修正について

利息返還金の高止まりや現在の景況感を鑑み、当第2四半期累計期間において、利息返還損失引当金として1,820億円、貸倒引当金として840億円（うち利息返還にかかわる元金損失480億円）の繰入実施などにより、営業費用が当初計画に対し約2,660億円増加する見込みとなっております。

また、本日発表した「事業再生計画（案）の概要に関するお知らせ」「希望退職者の募集に関するお知らせ」に基づく事業構造改革関連費用および8月24日に発表した消費者金融子会社4社（株式会社ワイド、トライト株式会社、株式会社ティーシーエム、株式会社パスキー）譲渡に係る子会社への貸付金譲渡損失のほか、子会社株式減損および子会社貸付金引当金など、約240億円を特別損失として計上する予定です。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績は2,620億円の営業損失、2,590億円の経常損失、2,860億円の四半期純損失となり、通期では2,610億円の営業損失、2,560億円の経常損失、2,840億円の当期純損失を見込んでおります。

(2) 連結業績予想の修正について

与信の厳格化による利息収入の減少、および平成21年9月30日付での消費者金融子会社4社譲渡を主要因に、通期の営業収益が当初計画に対し約93億減少する見込みです。

また、個別業績予想の修正同様、当第2四半期連結累計期間において、連結での利息返還損失引当金として1,900億円、貸倒引当金として920億円（うち利息返還にかかわる元金損失530億円）の繰入実施などにより、営業費用が当初計画に対し約2,780億円増加する見込みとなっております。また、消費者金融子会社4社の譲渡に係る子会社貸付金譲渡損失のほか、事業構造改革関連費用など、約220億円を特別損失として計上する予定です。

これらの結果、当第2四半連結累計期間の業績は2,720億円の営業損失、2,720億円の経常損失、2,980億円の四半期純損失となり、通期では2,860億円の営業損失、2,850億円の経常損失、3,110億円の当期純損失を見込んでおります。

3. 配当予想の修正

(1) 平成22年3月期通期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の配当予想数値の修正

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成21年5月12日発表)	5円00銭	5円00銭	10円00銭
今回修正予想	0円00銭	0円00銭	0円00銭
当期実績	0円00銭	—	—
前期実績 (平成21年3月期)	10円00銭	5円00銭	15円00銭

(2) 修正の理由

本日公表の「事業再生計画（案）の概要に関するお知らせ」のとおり、当社は今後の事業再生と事業継続に向けて強固な収益体質の確立および財務体質の抜本的な改善を図るため、事業再生ADR手続の申込をし、事業再生実務家協会より正式に受理されました。今後、事業再生ADR手続の中で、全お取引金融機関各位との協議を進めながら再生計画案を策定し、債権者会議において金融機関各位の合意による成立を目指して参りますが、平成22年3月期第2四半期および期末配当につきましては、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては当社グループの事業再生に、ご理解・ご協力を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づく会計監査前の将来見通しであり、最終の業績は今後の精査結果等、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上